

PC&ネットワーク社

全世界のノートパソコン(PC)販売台数が年間1億台を超え、その約半数が一般家庭向けとなっているように、ノートPCの一般ユーザーへの普及が加速し、その利用シーンの多様化が進んでいます。

東芝は、この多様な利用シーンをサポートするため、AVノートPC“Qosmio™”シリーズ(注)によって、デジタルTVチューナなどの最先端技術を応用した新製品を他社に先駆けて市場投入してきました。

また、2007年は、モバイル利用に求められる十分な堅ろう性を備えながら、軽量・薄型化を極めたdynabook™ SS RXシリーズ(注)を商品化しました。光学ドライブを搭載しても19.5 mmの薄さと863 gの軽さを実現するとともに、12.5時間のバッテリー駆動や64ギガバイトのフラッシュメモリドライブを実現するなど、三つの世界一と三つの世界初の機能を実現しています。“ゲーム”に焦点を当てた、Satellite™ X200の商品化も含め、ノートPCの可能性を広げ、“いつでも、どこでも、楽しく、安心・安全に利用できる”というニーズに応える商品の提供を続けています。

更に、2007年のCEATECでは、当社のプロセッサ技術を応用したSpursEngine™により、これまでのPCでは実現できなかったトランスコード機能や顔認識処理機能、SD(Standard Definition)品質からHD(High Definition)品質の動画画像を作り出す超解像機能など、自由にデジタルコンテンツを使いこなすための新技术を発表し、多くの注目を集めました。

当社は、今後もユーザーの視点に立ち、その生活を豊かにできる新しいサービスや機能を実現する“デジタルライフパートナー”と呼ぶにふさわしいノートPCを提供していきます。

(注) ハイライト編のp.2, 3, 9に関連記事掲載。

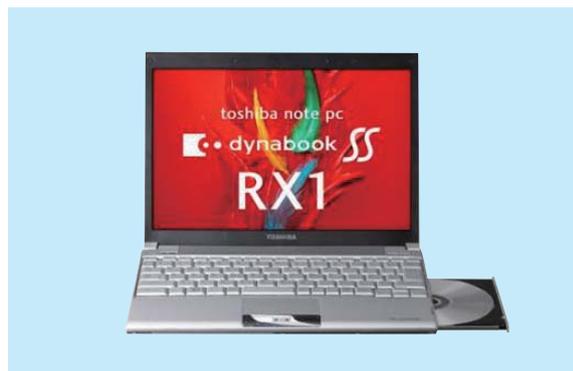
副社長 真田 勉

● 世界最薄・最軽量・最長時間バッテリー駆動のノートPC dynabook™ SS RX1

光学ドライブと12.1型ワイド液晶ディスプレイ(LCD)搭載のノートPCとして、最薄部厚さ約19.5 mm、質量863 g、バッテリー駆動約12.5時間の三つの世界一(注)を持つPCを商品化した。次の技術開発で、業界トップの性能を実現した。

- (1) 高密度実装 BGA (Ball Grid Array) 両面実装  
や高密度配線技術で基板の厚さ、面積、質量を削減
- (2) 薄肉化筐体(きょうたい) 薄肉鋳造技術によりマグネシウムボディの繊細な生成や加工を実現
- (3) 半透過型LCD LCDカバー部のバスタブ構造で必要な強度を保ち、薄型と軽量化を同時に実現
- (4) 7 mm厚 光学ドライブ 薄型DVDスーパーマルチドライブを採用

(注) 2007年6月現在、駆動時間は付属バッテリーバック5800装着時(当社調べ)。  
関係論文:東芝レビュー. 62, 11, 2007, p.44-47.

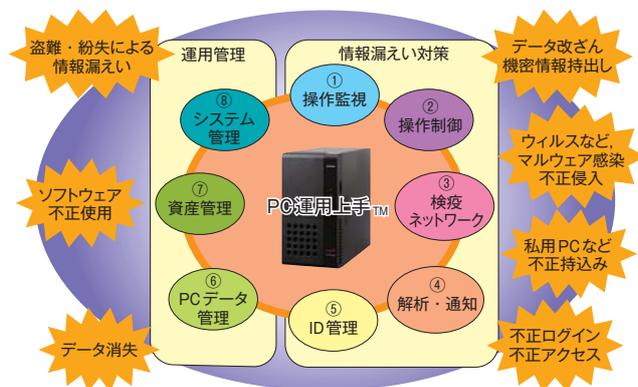


世界最薄・最軽量・最長時間バッテリー駆動のノートPC dynabook™ SS RX1  
dynabook™ SS RX1 thin, light, long-battery-life notebook PC

● PC統合セキュリティシステム“PC運用上手™”

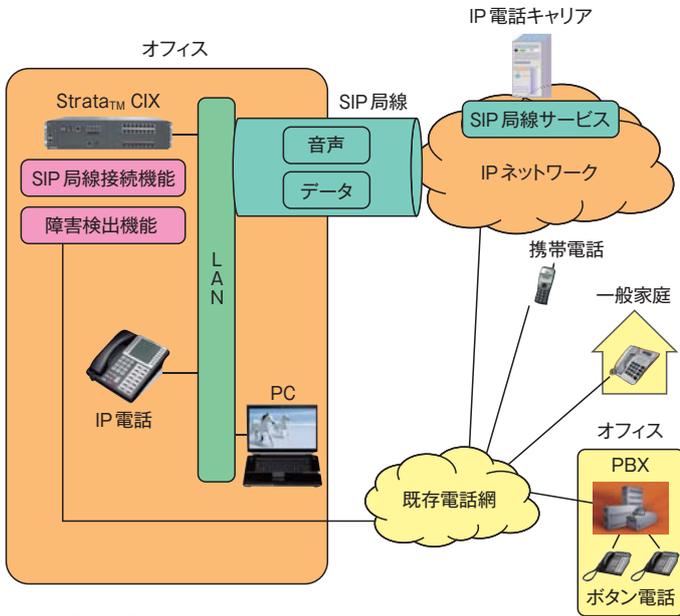
PC運用上手™は、情報漏えい対策と資産管理を統合したPCセキュリティシステムである。

専任のIT(情報技術)管理者がいない中小規模企業において、簡単に導入し運用できることを特長とし、ユーザーのPC操作監視、未登録USB(Universal Serial Bus)機器の使用禁止、及びウイルス対策ソフトが古いPCの社内LANへの接続制限、などの機能を備えている。ユーザーID(Identification)はAD(Active Directory)で一元管理しており、導入時にADの新規構築又は既存ADとの連携を自動で行うので、様々なユーザー環境に対応できる。セキュリティポリシーは5段階から選択して運用開始し、後で必要に応じてカスタム設定できるため、導入が容易である。



PC統合セキュリティシステム“PC運用上手™”  
Integrated PC security appliance server

● IPビジネス コミュニケーションシステムのSIP局線接続機能



PBX：構内交換機

IPビジネス コミュニケーションシステムのSIP局線接続機能  
SIP trunk line connection in IP business communication system

北米向けIP (Internet Protocol) ビジネス コミュニケーションシステムStrata™ CIXシリーズにおいて、米国大手IP電話キャリアが提供するSIP (Session Initiation Protocol)局線接続機能を開発した。

この機能は、電話をはじめとするマルチメディア通信のデファクトスタンダードであるSIPプロトコルをベースに通信を行うIP電話サービスで、データ、音声、及びインターネットなどの通信サービスの一元化や、通信コストの削減が実現できる。

また、独自の障害検出機能により、ネットワーク障害発生時にも発信局線を自動で回すことが可能で、Strata™ CIXの豊富なサービスを安心して提供できることから、通信ネットワークのIP化が進むなかで、この機能への需要が高まっている。

● 北米向け8者会議システム Strata™VCS



北米向け8者会議システム Strata™VCSの画面例  
Example of PC display with 8-party visual communication in Strata™ VCS system

海外向けビジネスコミュニケーションシステムStrata™CIXと組み合わせて、電話をかけるだけでビデオとPC画面を共有しながら8人までの会議ができる、Strata™VCS(Visual Communication System)を開発した。

多地点接続装置により最大8人でのビデオ通信(最高VGA(640×480画素)、30フレーム/s)を実現し、ビデオ画面の位置や大きさなどのレイアウトを、ユーザーの好みで個々に変更できる。

このほかにもファイル転送機能やチャット機能を備え、遠隔地でも多人数でビデオとワークスペースを共有でき、効率の良いビジネスコミュニケーションができる。

これまでの高価なテレビ会議装置に比べ低コストで導入でき、自席のPCで簡単に利用できる。